

これからの地域づくりを考える

市民検討会議ワークショップ

「地域でつながるって楽しい！」～参加と協働の新たなしくみワークショップ～

宮前区 開催結果概要

◎開催日時 2018(平成30)年8月5日(日) 13:30～16:50

◎開催場所 宮前区役所4階大会議室

◎参加者 34名 他25名(事務局、コンサルタント、各区傍聴者)

※事業者、区職員(企画課・地域振興課・地域ケア推進担当、地域支援担当)もグループワークに参加

◎内容 開会あいさつ 阿部市民文化局コミュニティ推進部長

ワークショップの目的と進め方

グループワーク

- ・テーマ1 自己紹介を通して活動の強みや得意分野を出し合おう
- ・テーマ2 「こうなったらいいなと思う10年後の地域の姿」を出し合おう
- ・テーマ3 「こうなったらいいなと思う10年後の地域の姿」を実現させるためのアイデアを出し合おう

グループワークの発表

閉会あいさつ 小田嶋宮前区長

◎出された主な意見

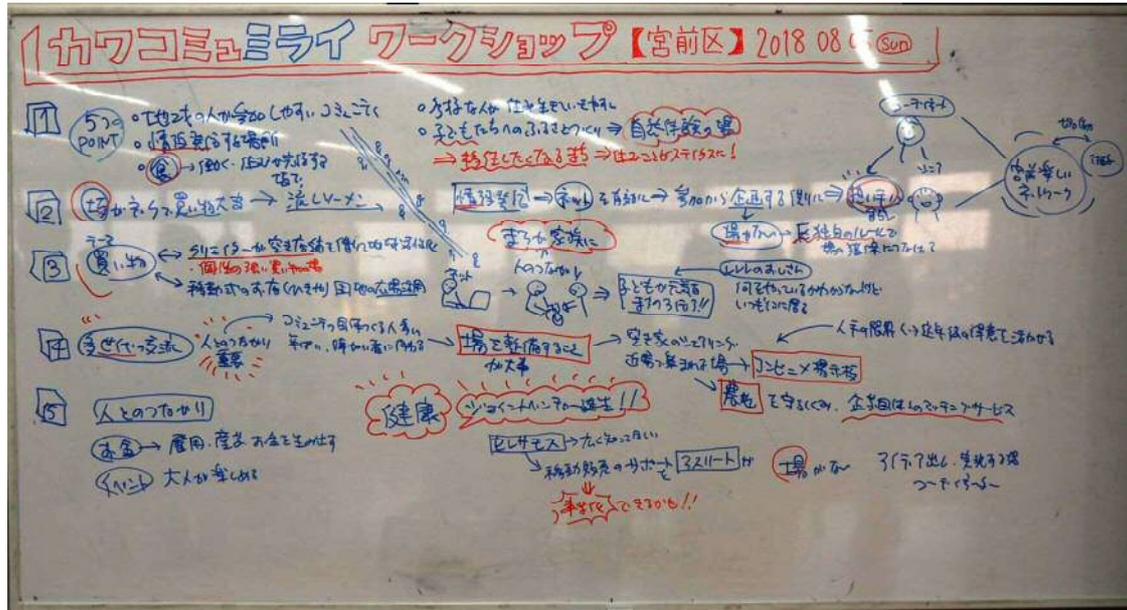
- ・地域の人が参加しやすいコミュニティ、情報発信する場、多様な人が住みやすいまちに
- ・坂のまちのデメリットを逆転の発想で楽しむ、富士見坂で流しソーメンのイベントをしかける
- ・団地の広場空間を活用した移動式店舗で買い物難民の解消、クリエイターの空き店舗活用
- ・人とのつながり、多世代交流が大切、空き家、農地、コンビニなど多様な空間活用で場の整備
- ・新しい地域での働き方が可能となるような雇用の場や産業、お金を生み出すことが必要
- ・企業と市民活動団体のマッチング、それらをつなぐコーディネーター機能が重要





市民検討会議ワークショップ（宮前区）のまとめ

グループ発表



1グループ

- 地域の人に参加しやすいコミュニティ
- 情報発信する場所
- 食→働く・住むが完結する
- 多様な人が住み、生きていきやすい
- 子どもたちへのふるさとづくり→自然体験の場
→移住したくなるまち→住むことがステータスに！

2グループ

- 坂がネックで買い物が大変
→坂で流しラーメンをするなど逆転の発想を

○情報発信が必要

- ・ ネットを有効に活用する
- ・ 場がないことが課題
 - 参加から企画する側に
 - 区独自のルールで場の確保につなげて

○担い手の育成が必要

- シニアによるコーディネート及び担い手育成
- 宮前楽しいネットワークをつくる（⇔行政と協働で）

3グループ

○テーマ：買い物を通して地域を活性化

- クリエイターが空き店舗を借りて地域活性化→個性の強い買い物の場をつくる
- 移動式のお店（ひきや）団地の広場活用

○まちが家族に

- ・ ネットから人のつながりができてまちが家族に
- ・ 子どもが元気なまちにはレレレのおじさんのような、何をやっているか分からないけど、いつもそこに居る存在が大事

4グループ

○多世代の交流→人とのつながりが重要！

- ・ コミュニティの団体をつくる人が多い、年配、障害者に関わる

○場を整備することが大事

- 空き家のシェアリング、近場で集まれる場
- コンビニを地域の場として活用（掲示板もコンビニに）
- 人手の限界⇔定年後の得意を生かせる

○農地を守るしくみができている

○企業団体のマッチングサービスがある

5グループ

○人とのつながり

- ・ お金→雇用、産業、お金を生み出す
- ・ イベント 大人が楽しめる

○健康をテーマにグループからジョイントベンチャー誕生！

- ・ セレサモスの移動販売を区内のアスリートが行うビジネスモデル
 - 区内の野菜のこともアスリートのことも広く知ってほしい
 - 事業化できるかも！！

○場がない

- ・ アイデア出し、実現する場、コーディネーターが必要